CENTRAL
セントラルグループ for life

せんとらるライナー 71号

2022年 冬 号
…1・4・7・10月1日発行…
セントラルグループ
〒509-7201 恵那市大井町 1202-4
【TEL】 0573-26-4114
【mail】info@central1961.com

ご挨拶

考えていては何も出来申さず候、
われらはしくじるを先に
つかまつり候

輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

さて、今更、私が申し上げるまでもなくコロナは世の中を変えました。私共の職場においてもリモートワークにはじまり、営業手法、現場管理システム、会議方法など等において大小様々な変化をもたらしました。加えて、コロナは燃料の高騰、資材の調達難などといった悪影響を生み出しております。こうしたコロナが及ぼす変化は、これで終わるのではなく、これから本格化するのではないかと考えます。

何がどう変化するかを見通すことは容易ではなく不安を感じます。しかし、前向きに変化に対応することでチャンスも生まれます。「あの会社に任せておけば安心」という、「ワン・ストップ・ソリューション・カンパニー」を目指す我々にとって、ビジネス領域を広げる絶好の好機でもあります。

今回の「読書尚友」に記した平賀源内のモットーは、「考えていては何も出来申さず候、われらはしくじるを先につかまつり候」であったそうです。この失敗を恐れぬ源内のチャレンジ精神を見習い、より地域に貢献し得るセントラルグループへと企業努力を重ねてゆく所存であります。

本年も、何とぞご愛顧賜らんことをお願い申し上げます。

阿部伸一郎

Kanekuコーポレーション 新事務所紹介

創業から、一世紀半後の再スタート

Kanekuコーポレーション（カネ九商事株式会社）は、明治元年（1868年）初代阿部九市が現在の恵那市大井町本町の地で雑貨商を営んだことから始まりました。扱う商品は、創業時の雑貨から肥料・亜炭・石油・プロパンガス等を経て戦後は、建材へと移り変わりました。

そして、2005年。新規に介護関連事業を立ち上げたのをきっかけに、年々事務所も倉庫も手狭になり、いずれは移転をしなければと考えていた矢先、目と鼻の先の土地が売りに出され移転することと致しました。

建材事業部においては、これから本格化するリニア関連工事や濃飛横断道路、瑞恵バイパスなどの大型事業はもとより、地域住民の安全、生命、財産を守る縁の下の力持ちとして貢献する地元建設業者の皆様にご満足頂ける様な準備を進めてゆく所存であります。

また、新事務所には、ライフケア事業部のショールームも併設致しました。これにより、今までカタログに頼るしかなかった福祉用具が、見て体感して選んで頂くことが可能となりました。

介護保険は、分かり辛い複雑なシステムです。何なりとお問い合わせ下さい。

本年も、創業から一世紀半後の再スタートを切ったKanekuコーポレーションを旧に倍して、よろしくお願い申し上げます。

トイレでうどん

地域に残る、言い伝えを守りました。

当地に古くから伝わる独特な習慣があります。それは、建物を新築や改修した時に、トイレでうどんを食べると病気にならないという言い伝えです。諸説ありますが、長いうどんは、寿命を長くするという言う説をよく聞きます。男性用と女性用、それぞれ社長と副社長に大役を務めて頂きました。

新しい設備紹介

①ショールーム

一般の方にも見ていただけるショールーム。活用方法もその場でご案内出来ます。

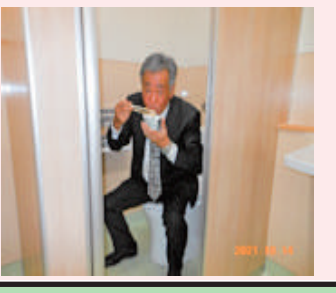
②建材事業部、ライフケア事業部倉庫拡大

広く開放的になった倉庫。使い勝手も抜群です。

↑ライフケア事業部倉庫

←建材事業部倉庫

←社長



→副社長

中山道じねんじょ農園 その21 たより

今年の秋は、思いのほか暖かい日が続き本格的な収穫は例年より遅く12月に入ってからとなりました。事前にご予約いただいたお客様へのお届けが遅れてしまいましたことお詫び申し上げます。なお品質に関しては申し分なく、美味しい自然薯が育っております。

今年から中山道じねんじょ農園は2つの新たな試みを行いました。

1つは一般のお客様向けのセットを開発、販売迄行えたこと。2つ目は恵那峡で開催されている「Aeruマーケット」にも出店し、多くの皆様にもご好評をいただいていることです。試食も季節に合わせて「自然薯」「むかごの青唐味噌」「自然薯味噌漬け」等を出しており、「おいしい」「家庭でも簡単に使える」とうれしいお声もいただいております。注文も既におかわりを頂くお客様もいらっしゃいます。是非一度、ご来場し、味わってもらえればと思います。

次回 Aeru マーケット開催予定（恵那峡さざなみ公園にて）

2022/1/8
2/5
3/5
4/2

お問い合わせ先
ジバスクラム恵那
岐阜県恵那市大井町293-9
0573-32-1787 担当：原、加藤

企業理念

社是
企業は人なり
人は姿勢なり
姿勢は心なり

社訓
一、人・姿勢・心の基本は
挨拶にあると知れ
一、礼儀を正し、
前向きで素直たれ
一、信用を第一とし、
知恵と工夫と努力で
利益を追求せよ
一、反省し改善し進化せよ

綱領
我々、セントラルグループ全社員は、
企業理念の根幹たる
人・姿勢・心を研き、
社業の繁栄を築き、
地域の安全で快適な生活基盤を
創造する担い手として、
社会に貢献することを使命とする。

企業理念の意味するところ

わが社の思想、進むべき方向性。
そして、当社において「正しい考え方」とは何であるのか。
それらを簡潔に要約したのが、右の企業理念です。我々セントラルグループ全社員は、この企業理念に価値観を共有し結束し、地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手と成るべく進化を続けて行く所存です。

読書尚友 ～読書をして昔の賢人を友にすること～

古典60選 …グループ代表 阿部伸一郎…

71／60＋α

フウリュウシドウケンデン
『風流志道軒傳』

平賀 源内（風来山人）
1728～1780

徳川将軍家の兵法の指南役であった柳生家の家訓に「小才は縁に出合いて縁に気付かず、中才は縁に気付くも縁を活かせず、大才は袖触れ合う他生の縁をも活かす」とある。

「尊敬する人は誰か」と問われると、江戸中期に袖触れ合う縁を活かし続けた大才の名をあげる。その人物とは、本草学者、鉱山技師、蘭学者、医師、電気学者、陶芸家、建築家、発明家、画家、小説家、浄瑠璃作家、俳人、商人、コンサルタント、コピーライター、イベントプランナーなど等のスーパーマルチタレント、平賀源内である。

源内は、享保3年（1728年）、高松藩讃岐国の下級武士の三男として生を受けた。父は、幼いころからユニークな発想をする源内を見込み、名家の子息が集う儒学塾に通わせた。大才源内は、塾の仲間のみならず彼らの親とも縁を深める。後年、「源内焼」なるものを創出するが、これも同僚の親の陶芸家から受けた指導が源となっている。医者の子もいた。彼の父からは、植物や鉱物から薬品をつくる本草学の手ほどきを受けた。

二十歳の時に父が亡くなる。二人の兄は夭折しており源内が家督を継ぐが、彼の心は本草学にあった。そんな折、時の藩医が長崎に遊学すると聞き、袖触れ合う縁を辿り世話役として同行する許可を得た。長崎では、異国文化に興味を抱き出島に日参する。そこで学んだものの一つに油絵がある。画家源内が描いた婦人画は我が国最古の西洋画として今も残る。

我が国最古の西洋画

一年間の遊学を終え国に帰るが、好奇心を抑えきれず江戸行きを決心する。国を離れるには、武士の身分が邪魔である。そこで妹に婿養子を迎え家督を譲り江戸へ出た。江戸でどんな人物とどう袖を触れわせたかは不明だが無一文の浪人が、徳川宗家に通じる江戸一番の本草学者に弟子入りしている。はたまた、幕府直轄で各藩のエリートのみが入門を許される最高学府、昌平坂学問所にも席を置いた。

源内が世に出るきっかけとなったのは、師匠の名声を前面に日本初となる博覧会を企画し大成功に導いたことだった。これによって源内の名は広く知れ渡り江戸の名士、はたまた老中の田沼意次に至る華麗なる人脈を創り上げた。中でも、杉田玄白、前野良沢とは死ぬまで懇意にし『解体新書』の作成にも尽力している。

有名人となった源内先生のもとには、様々な仕事が舞い込んで来た。夏場に客が来ないと嘆く鰻屋のために作った「土用の丑に鰻を」のキャッチコピーは、今日もつづく。また、新田神社からのコンサルティング依頼では、境内に茂る竹藪を見て「破魔矢」を考案し大いに潤わせた。発明家源内も尋常ではない。エレキテルの復元以外にも寒温計、万歩計、水平器、ライター、火浣布などを我が国で最初に創りあげている。発明品や企画、芸術といったハード、ソフト両面で「日本初」の形容詞が付く「メイド・バイ源内」は百にも上るという。しかし、時代が彼に追い付かず大半は商いには至らなかった。そこで資金稼ぎの手段としたのが小説を書くことだった。こちらは売れに売れた。その代表作の一つが、風来山人のペンネームで記した世界旅行記『風流志道軒傳』である。鎖国で海外など誰も行ったことのない時代に世界を描くという発想力が凄い。他にも江戸浄瑠璃の傑作として、今なお浄瑠璃でも歌舞伎でも演じられる『神霊矢口之渡』をはじめ数十冊の人気作を上梓している。

源内の代名詞「エレキテル」

源内作の演目

あまりにも博識多才ゆえ中途半端という評価が源内には付きまとう。誰かと似ている気がする。そう、大谷翔平だ。投手か打者のどちらかに専念しないと中途半端に終わるとの声をもろともせず、大谷は打って投げて走って守って、最高に栄誉あるMVPを獲得した。

江戸時代のMVPを選ぶとすれば、私は迷うことなく平賀源内に一票を投じる。

せんとらるライナーで旅する恵那 岩村藩

岩村藩（現恵那市）と幕府直轄の最高学府 昌平坂学問所

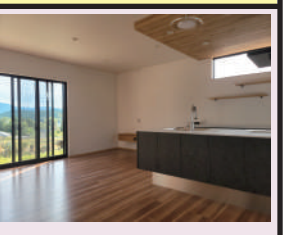
東京大学の前身で平賀源内も学んだ昌平坂学問所は、もともとは上野に位置し、徳川家康のブレーンであった林羅山（はやしらざん）が大学頭（だいがくのかみ）を務める朱子学塾であった。

その後、神田湯島に移転。幕府の直轄となってからは昌平坂学問所と改名された。羅山の死後、代々林家が大学頭を務めたが七代目で途切れると、幕府は岩村藩主松平乗薀（のりもり）の三男乗衡（のりひら）を林家の跡継ぎに任命し、八代目林述斎（じゅっさい）が誕生した。大学頭に就いた述斎は、同じ岩村藩で4つ年下の佐藤一斎を入門させた。すこぶる優秀であった一斎は後に塾長となった。

昌平坂学問所の大学頭と塾長。今で言えば、東大の総長と学生会の会長が共に岩村藩出身者ということだ。他にも同藩は、東大教授を務め植物学の第一人者として著名な三好学、女子教育の先覚者で実践女子大学の創設者である下田歌子も輩出している。

誇らしき哉、岩村藩である。

建築NEWS 中津川市苗木地内 T様邸新築工事 竣工



昨年10月、中津川市苗木で新築中だったT様邸新築工事が無事竣工を迎え、お引き渡しすることが出来ました。

T様邸では、お忙しいご主人に代わり、はっきりとした仕上がりのイメージを持たれた奥様が、幾度となく現場に出向かれ詳細な打合せに時間を費やして頂きました。その甲斐あって、コンセントやスイッチの位置、飾り棚の間隔に至るまでをイメージ通りに施工することが出来、非常に喜んでいただけました。また、造り付けの子ども用デスクやTV台など、お施主様のオーダーに合わせて製作した家具も大変気に入ってもらえました。

施工する立場の者にとって、お客様に満足していただけることが何よりもの喜びであり、やりがいです。今後とも、「気に入った」「嬉しい」「ありがとう」と言っていただける家づくりを目指して頑張る所存です。どうぞ、セントラル建設住宅事業部を宜しくお願い申し上げます。

せんとらるライナー食堂車 AeruShop

令和元年、恵那市と恵那市観光協会が出資して、地域商社兼DMO法人「ジバスクラム恵那」が誕生した。

このジバスクラムの取り組みの一つに、当地域の農林産物を「恵那山麓野菜」のブランド名で都市部や世界に発信し販路開拓に繋げようというプロジェクトがある。この恵那山麓野菜のアンテナショップを主目的として昨年7月に恵那駅前に誕生したのがAeruSHOPである。

現在、プロジェクトに参画している恵那と中津川の30農家が提供する野菜は、季節によってラインアップが次々と入れ替わり、いつ行っても売り場を新鮮にしてくれる。

他にもジュースやジャム、ハーブティ、各種ソースなどの加工品や、地域らしさを追求した調味料、お菓子などもある。それぞれの商品を詰め合わせることも可能で、ギフトとしても人気を博している。

お店を彩るのは食品だけではない。メイド・イン恵那の手作りアクセサリーや、時折持ち込まれる逸品も並ぶ。近々、ジバスクラムの取り組みに合わせてドローンや液体肥料も取り扱うそうだ。

また、店舗の二階はジバスクラムのオフィスになっている。

地域商社兼DMO法人であるこの会社のミッションは、「恵那の魅力を世界に発信すること」と「稼ぐ観光都市恵那を創出すること」にある。その手段として、ウェブサイト「Aeru」を立ち上げ各種情報提供に努めると共に、ビジネスマッチングや商品開発のサポートなども行っている。

AeruSHOPとジバスクラム恵那。きっと何かヒントを与えてくれそうな存在である。

営業時間　9:30 ～ 15:30
日曜・祝日休み
ウェブサイト Aeru：
https://www.aerushop.jp/

せんとらるライナー乗務員室

名前／曽我 政之

職長

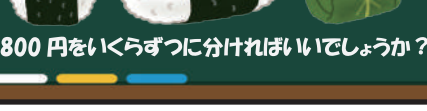
社歴／12年7か月　所属／アスコンセンター　年齢／34歳
休日の過ごし方／少年野球の審判　趣味／草野球、バス釣り
一言／今後も慢心することなく、仕事に向き合って行きたい
仕事のやりがい／朝のミーティングで、その日の作業内容が決まります。
そして、自分なりにその日の作業工程をイメージします。予定通りに無事終わった時の達成感は最高です。
上司からの一言／アスコンセンターでは、現場作業員達のまとめ役として、日々の業務に取り組んでもらっています。日常業務も修理作業も現場の事は君に任せておけば大丈夫と信頼感抜群。セントラル建設になくてはならない人材である。

せんとらるライナー待合室

【問題】　※論理クイズ

8つのおにぎり

2人の生徒AとBがいました。
Aはおにぎりを5つ、Bはおにぎりを3つ買ってきました。そこに腹ペコの先生が来たので3人で8つのおにぎりを食べることにしました。
8つのおにぎりは3人で3等分して食べました。先生はお礼にと800円を2人に渡しました。
ここで問題です。
2人は800円をいくらずつに分ければいいでしょうか？



【70号のこたえ】
①「ある」は漢字を反対にしても違う意味になる
② 果物の名前が入っている。

【解説】
①は、日本を逆さにすると「本日」。上海を逆さにすると「海上」となり、違う意味になってしまう。
②は、指輪に「びわ」隔離には「栗」等果物が隠れていました。